

患者さんへ

「膵切除術後の膵瘻に対するドレーン管理方法について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2018年8月から2022年12月まで、湘南鎌倉総合病院と秋田厚生医療センターで膵切除術を受けた患者さん
2 研究目的・方法	<p>【目的】膵切除後に、合併症として膵瘻があった場合、改善するまでドレーン留置が必要になります。ドレーンの位置調整は、通常はX線透視のみで行われますが、CTを併用して行った方が、位置の細かい調整が可能となり、効率の良いドレナージができると期待されます。</p> <p>【研究の期間】施設院長許可後～2024年6月</p> <p>【方法】術後に膵瘻があった患者さんのドレーン調整を、X線透視のみで行った場合と、CT併用で行った場合のドレーン留置期間、在院日数等に差があるかどうかを、患者さんの診療情報を用いて比較検討します。</p>
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6 お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、病歴、術式、合併症(膵瘻含む)等の発生状況、ドレーン交換方法、ドレーン留置期間、術後在院日数 等
5 研究実施体制	<p>[情報の提供を受ける機関]</p> <p>湘南鎌倉総合病院 肝胆膵外科 鹿股宏之</p> <p>[情報を提供する機関]</p> <p>秋田厚生医療センター 院長 柴田聡</p> <p>[外部への情報の提供]</p> <p>当院の院長: URL: https://www.skgh.jp/</p> <p>データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。コード番号一覧表は、当院の個人情報管理者が保管・管理します。</p>
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

	<p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:</p>
--	---------------------------------------

鹿股宏之 湘南鎌倉総合病院 肝胆膵外科

神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717

2024年3月13日作成(第1.1版)